

1 計画策定の背景と目的

近年、全国的に都市化の進展による浸透域の減少や、河川水位等における背水の影響により、浸水被害が頻発しています。益田市においても、2013年8月25日による降雨（時間雨量77mm）や2023年7月9日による降雨（時間雨量48mm）において、浸水被害が発生している状況です。また、全国的には近年の気候変動の影響により降雨増加傾向となっており、平成27年及び令和3年に水防法及び下水道法の改正が行われ、「再度災害防止」「選択と集中」「既存ストック活用」等を重視した計画策定と効率的な事業運営が求められています。

このような背景を踏まえて、益田市では効率的な雨水排除事業を実施することを目的とし、今後雨水浸水対策を実施する上で、当面・中期・長期にわたる、浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定める「雨水管理総合計画」を策定しました。

2 浸水対策実施区域（重点地区・一般地区A・一般地区B）

「選択と集中」の観点から、優先的に実施すべき地域（＝重点地区）からメリハリを付けた整備を進めていきます。

排水区を基本とした地域ブロックごとに、浸水実績に基づく浸水リスクを被害額に換算した「浸水被害額」と、「生命の保護・都市機能の確保・個人資産の保護」の観点から整理した「地域重要度」の2つの指標から、優先度の高い順に「重点地区」、「一般地区A」、「一般地区B」の3地区に分類しました。

各地区の分類結果を図2「雨水管理方針マップ」に示します。

表 2 地域重要度の分類一覧

項目	施設	
A：生命の保護	・福祉施設	
B：都市機能の確保	・医療機関 ・避難施設	・緊急輸送路 ・鉄道
C：個人財産の保護	・用途地域	

表 1 整備優先地区の設定

評価結果	分類	優先順位
I	重点地区	高
II	一般地区A	中
III	一般地区B	低

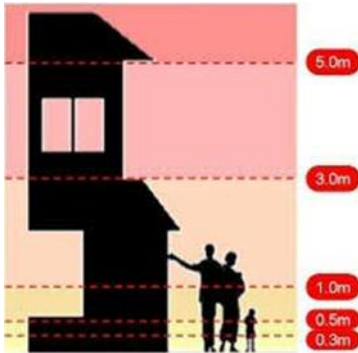
地域重要度	高 A	II	I	I
	中 B	III	II	I
	低 C	III	III	II
		C 小	B 中	A 大
		浸水被害額		

3 対象降雨と達成目標

重点地区に分類される排水区において、対象降雨に対して下水道事業によるハード対策で達成すべき達成目標（段階的の整備期間（概ね20年）、将来目標）を設定します。

表 3 対象降雨および達成目標

対象地区	対象降雨	達成目標	
		段階的の整備期間	将来目標
須子中島第1排水区	10年確率降雨 (78.3mm/h)	一部・全体 最大湛水深30cm以下	全体 最大湛水深10cm以下
吉田排水区		一部 最大湛水深30cm以下	



4 事業計画への位置付けについて

段階的の整備計画で策定された対策施設を下水道事業として事業計画に位置付けます。はじめは、当面对策として抽出された対策施設の位置付けを行い、当面对策の浸水対策効果を確認しながら、順に中期・長期と位置付けを実施します。

なお、雨水管理総合計画は、概ね5年に1度の頻度で整備状況及び浸水被害状況を踏まえ、見直しを行います。

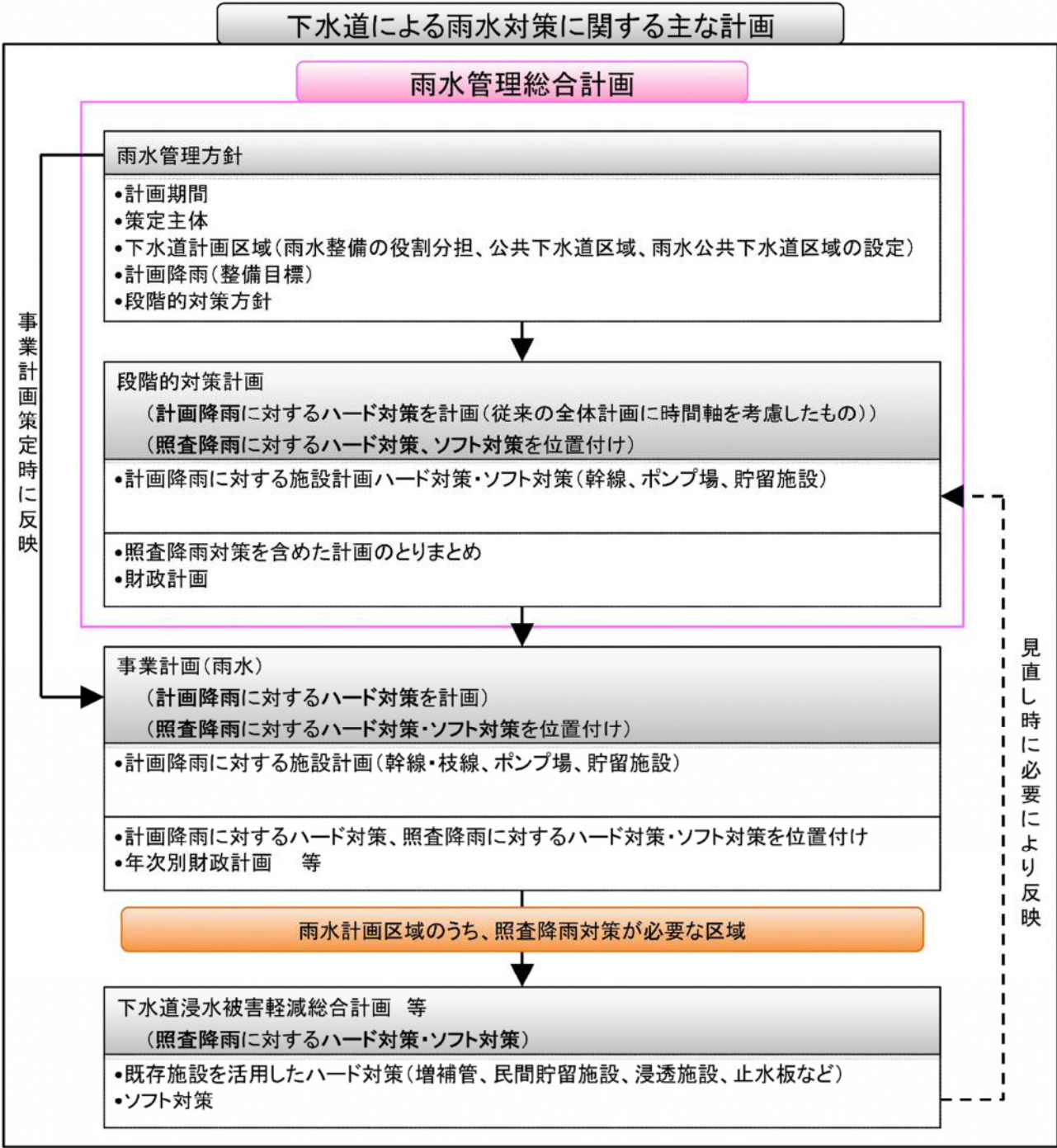


図 1 雨水管理総合計画の位置付け

益田市雨水管理方針マップ 1/20,000

段階的整備目標

重点地区	当面（5年）	中期（10年）	長期（20年）
須子中島第1排水区	一部 床下浸水解消	全体 床下浸水解消	全体 概ね浸水解消
吉田排水区	—	一部 床下浸水解消	

※雨水管理総合計画は、概ね5年に1度の頻度で整備状況及び浸水被害状況を踏まえ、見直しを行います。

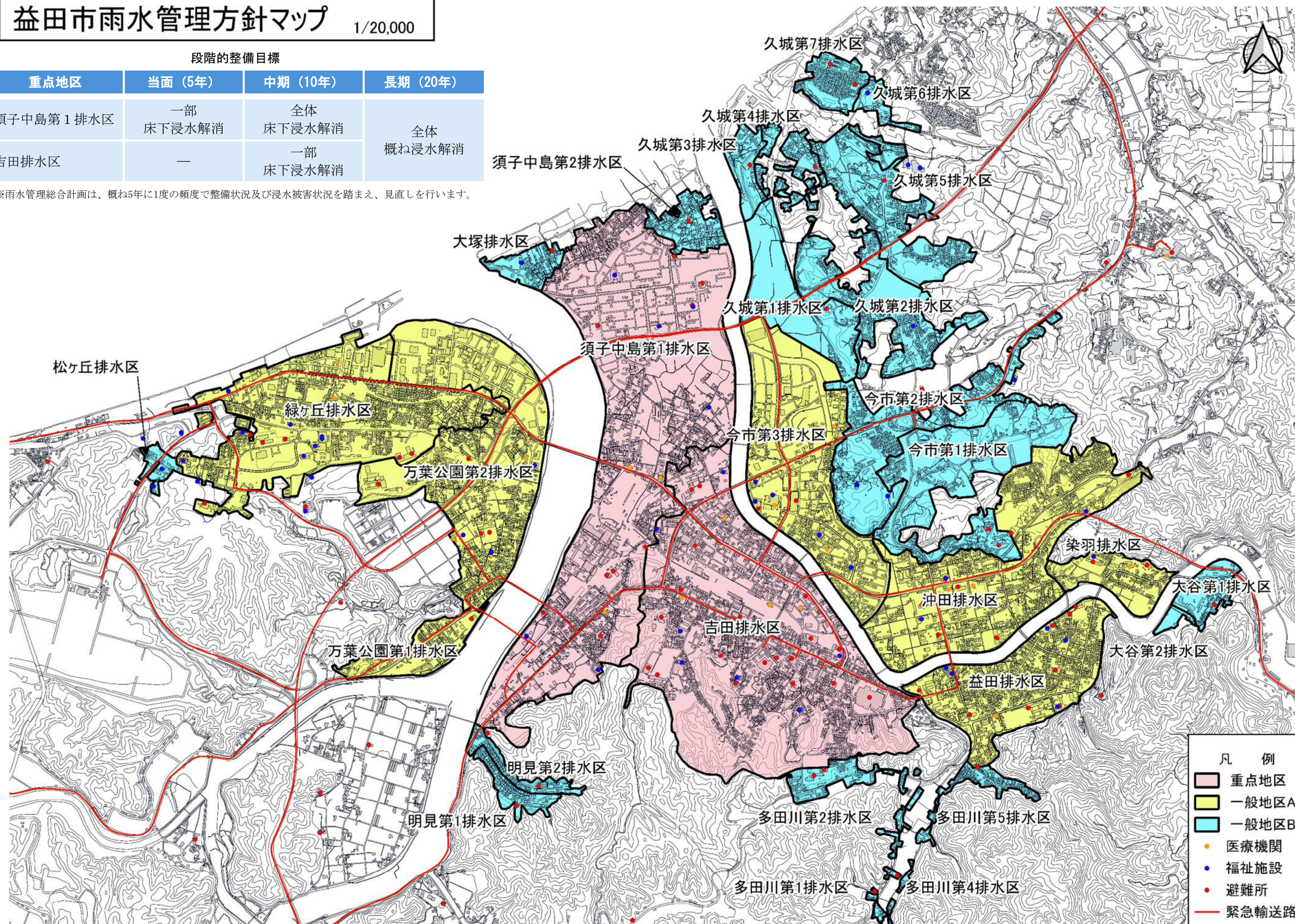


図 2 益田市雨水管理方針マップ